



10/
19

本物のジャズの演奏が聴衆を圧倒 JAZZ in 四国 (愛南町) 2019



渋谷毅エッセンシャル・エリントン with 清水秀子



The Cats from North with MINE

「JAZZ in 四国 (愛南町) 2019」(同実行委員会主催)が御荘文化センターであり、町内外から約450人の音楽愛好者が来場してプロのジャズミュージシャンが奏でる音色に聴き入りました。

町出身のジャズベーシスト・故岡田勉さんの追悼コンサートとして平成26年に始まり今回で6回目。出演4グループが5時間にわたって多彩な曲目を披露すると、会場から歓声や拍手が起りました。

第2回から連続で来場している畠山喜文さん(城辺甲)は、「峰厚介さんの曲は疾走感があり、迫力のある演奏だった」と話し、松山市から訪れた立花涼子さんは、「JAZZ in 南レクには来たことがあったが、こちらは初めて。本物の音楽を聴く機会がないので刺激を受けたし、楽しかった」と満足した様子でした。

弟の生き方、うらやましい

JAZZ in 四国 (愛南町) 実行委員会 実行委員長 岡田 一男^{かずお}さん

「無茶苦茶だと思いましたが、やめた方が良かった」。JAZZ in 四国 (愛南町) 実行委員会で実行委員長を務める岡田一男^{かずお}さんは、5人きょうだいの弟、勉^{つとむ}さんが大学在学中にミュージシャンを志したときのことをそう振り返ります。やがて勉^{つとむ}さんは大学を中退し、ジャズベーシストの道に進みました。「成功したのはいろいろな幸運も重なったから。でも、亡くなってからもこうやって名前が出て、それがずっと残っていく。今となっては良かったなと思います。うらやましいですね」。



岡田 勉^{つとむ} (昭和23年生まれ。平城小-御荘中-南宇和高-上智大(中退))

ジャズミュージシャン。愛称は"ベンさん"。上智大学在学中、軽音楽部のロックバンドでギターを担当。大学2年生のとき、友人の誘いでジャズバンドに参加。大学中退と前後してギターからベースに転向。以来、ジャズベーシストとして活躍し、平成25年に病のため没。仲間のミュージシャンや地元の方などが協力し、勉^{つとむ}さんの追悼コンサートとして平成26年に「JAZZ in 四国 (愛南町)」(第1回)が開かれた。



プロのミュージシャンと協演する南宇和高校吹奏楽部の生徒

友達と訪れた塾下紗愛^{さあ}さん(御荘中2年)は、「演奏する姿も音も格好良かった」と話し、楽しんだ様子でした。

プロのミュージシャンと協演すると、会場から歓声が上がりました。

南宇和高校吹奏楽部も出演し、プロのミュージシャンと協演すると、会場から歓声が上がりました。

「子供たちのためのジャズ演奏会」が御荘文化センターであり、家族連れや学生、地域の方などが来場してジャズの演奏を楽しみました。

10/
20



愛媛CATV
動画